

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、  
 ご利用いただきたくご案内いたします。  
 当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を  
 重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ  
 どよろしくお願い申し上げます。

敬白

### 記

■ 実施日      2018年11月20日(火) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
3999 3	Ana o 3 (カシューナッツ由来) 5A100-2794-023-023	血清 各 0.3	S09 ↓ A00 (X)	冷蔵	2~4	1アレルギー 110 ※5	FEIA	クラス0 0.35未満 (U <sub>A</sub> /mL)	判定基準は 裏面を ご参照くだ さい。
3998 6	Jug r 1 (クルミ由来) 5A100-2795-023-023								

※5：免疫学的検査判断料

● Ana o 3 (カシューナッツ由来)

● Jug r 1 (クルミ由来)

アレルギーコンポーネントの特異的IgE検査のうちの1つです。

「Ana o 3」は、カシューナッツに、「Jug r 1」はクルミに含有するアレルギータンパク質の1つ(アレルギーコンポーネント)です。種実類の貯蔵タンパク質である2Sアルブミンに属しており、熱や消化に安定であるため、全身症状の発現に関与しています。

粗抽出アレルギー(クルミ特異的IgE および カシューナッツ特異的IgE)は、臨床症状に対して感度が高い一方、特異度が十分ではない特徴があるため、偽陽性があるということがありました。しかし、アレルギー症状が重篤であるため、経口負荷試験を実施することもなく、除去指導されることが多いという課題がありました。

本項目は、粗抽出アレルギーよりも臨床的特異度が高いため、粗抽出アレルギーと組み合わせて測定することにより、より精度の高い診断・経口負荷試験対象者の抽出および必要最小限の原因食物の除去に寄与することが期待されます。

▼疾患との関連

ナッツアレルギー

▼関連する主な検査項目

特異的IgEカシューナッツ  
特異的IgE クルミ

▼検査要項

検査項目名	Ana o 3 (カシューナッツ由来)	Jug r 1 (クルミ由来)
項目コードNo.	3999 3	3998 6
検体量	血清 各 0.3 mL	
容器	S09→A00 (X) ポリスピッツ	
保存方法	冷蔵保存してください	
所要日数	2~4	
検査方法	FEIA	
基準値	クラス0 0.35未満 (UA/mL)	
検査実施料	1アレルギー 110点 (「D015」血漿蛋白免疫学的検査「12」)	
判断料	144点(免疫学的検査判断料)	
備考	判定基準は下記をご参照ください。	

● 特異的IgE (シングルアレルギー) FEIA法 (判定基準)

クラス	特異的IgE 抗体価 (UA/mL)	判定
0	0.35 未満	陰性
1	0.35~0.70 未満	疑陽性
2	0.70~3.50 未満	陽性
3	3.50~17.5 未満	
4	17.5~50.0 未満	
5	50.0~100 未満	
6	100 以上	

●参考文献

奥田 勲, 他: 医学検査46 (10) : 1525~1530, 1997. (検査方法参考文献)

Lange L, et al : Allergy 72 (4) : 598~603, 2017. (Ana o 3(カシューナッツ由来) 臨床的意義参考文献)

Sakura Sato, et al : J Allergy Clin Immunol Pract.5 (6) : 1784~1786, 2017.

(Jug r 1(クルミ由来) 臨床的意義参考文献)